

平成 29 年 4 月

平成 29 年度 練馬区立中村西小学校 学校経営計画

練馬区立中村西小学校

校長 神 永 武 志

A 目指す学校像

東京都・練馬区の「みどりの風吹くまちビジョン」の戦略計画における「児童一人ひとりに質の高い教育を」および「平成 29 年度教育振興部教育指導課の主要施策」における「3つの重点課題」を踏まえ、子供たちに、自ら学び、考え、行動する力や、社会の発展に主体的に貢献する力を培うことに全力をあげ、推進していく。そのために、以下のような「教育目標」に向けた「目指す学校像」とする。

<教育目標>

人権尊重の精神を基盤とし、国際的視野をもちながら郷土や地域を大切に、主体的に社会に貢献できる、心身共に健康で人間性豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を設定する。

- よく考える子ども（確かな学力）
- からだのじょうぶな子ども（健やかな体）
- 思いやりのある子ども（豊かな心）

それに向けて、以下3項目を目指す。

- 1 目指す児童像（教育目標の3点と下記2点）
 - ・ 中西小やこの町、地域が大好きと言える児童
 - ・ 地域の誇りとなる児童
- 2 目指す教師像（人材育成・組織力）
 - ・ 組織的に協力し、向上心や参画意識をもち、OJT や PDCA 改善に努める教師
 - ・ 子どもに寄り添い、保護者・地域に信頼されるプロ教師
- 3 目指す学校像(知徳体・人材育成・組織力・安全安心・連携 ⇄ 児童像+教師像)
 - ・ 子どもが安全で安心して学び、喜べる学校
 - ・ 豊かな心を育成し、確かな学力を身に付け、健やかな体をはぐくむ学校
 - ・ 地域に開き、連携し、協力・協調・協働できる学校

B 中期経営目標（3年から5年程度先を見据えての方策）

- 1 「確かな学力」に向けて
児童に、基礎・基本の学力の定着を図り、主体的に学ぶ力を育成する。
（授業改善・ICT活用・読書推進・学力テスト・講師等の人材活用・小中連携）
- 2 「豊かな心」に向けて
児童に、豊かな感性や人を思いやる心を育て、自他の生命や人権を尊重する態度

を養う。

(道徳授業地区公開講座・いじめ防止推進教師の活用といじめの早期発見と対応)

- 3 「健やかな体」に向けて
児童に、自らの安全と健康を守る力や心身の成長を図りながら、よりよい生活をおくる力を身に付けさせる。

(体力テスト・オリンピックパラリンピック教育実践・食育・アレルギー対応)

- 4 「開かれた学校」に向けて
地域を愛し、地域に愛される児童を育成する。地域社会の恩恵に感謝し、貢献する気持ちをはぐくむ。

(アンケート・地域の教育力と学校支援地域連携推進校・連携・情報提供と発信)

- 5 「人材育成」に向けて
互いの資質・能力の向上を図り、公務員としての職責を果たすため、各職層での人材育成を推進するとともに、校内研究における授業力向上を図る。

(OJT推進と確立)

C 平成29年度の達成目標（短期経営目標）と具体的な方策および数値目標

★平成28年度の学力調査や体力テスト調査結果と学校評価報告書結果から以下のことが挙げられる。

○昨年度 学力調査から （「中西だより」平成29年2月23日付より）

国語 知識・活用ともに都と全国レベルを上回っているが、観点の「知識」が平均レベルとほぼ同程度であり、その伸長が課題である。

算数 知識・活用ともに都と全国レベルを上回っているが、「量と測定」「図形」の観点は、どちらも平均レベルとほぼ同程度であり、図形の性質や実際の量の感覚、具体物操作を通して技能の定着を図ることが習得の課題として絞りたい。

○昨年度 体力テスト調査から （「中西だより」平成29年2月23日付より）

各学年ともに、都や区レベルを上回っている結果もあるが、筋持久力・柔軟性・俊敏性・跳力・投力の測定結果が、都や区レベルより下がっていた。上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・立ち幅跳び・ソフトボール投げなどに関わる体力が課題と言える。

○昨年度 学校評価報告書から （平成29年度2月23日付より）

「次年度の学校改善に向けて」にある内容は次のようになっている。

- ・児童の基礎学力や思考力、表現力、読み解く力、応用力の育成。
- ・読書推進の継続発展。
- ・蓄積した道徳教育の成果の定着といじめ防止推進、「SNSルール」の活用。

- ・全校的な体力作りの機会の設定と、自ら運動に意欲的に取り組む。

◎ これらの調査結果や報告書結果の課題に対応するために、

- (1) 東京ベーシックドリルの活用
- (2) 様々な読書活動の推進
- (3) 校内研究の全学年公開授業
- (4) オリンピック・パラリンピック教育実践の具体化と実施

の4点を実践する。以下に具体的な方策と達成目標の数値化を示す。

1 「確かな学力」に向けて（指標要素は教育活動アンケート・学力テスト・公開感想等）

短期経営目標	方策
<p>○基礎基本の学力の定着を図る。</p> <p>○学ぶ意欲や興味関心を高め、知的好奇心を伸ばす。</p> <p>○読書に親しみ、本が読める児童を育てる。</p> <p>○教師の学習指導力の向上を図る。</p> <p>○要配慮児童の指導や個に応じた指導を推進する。</p> <p>○幼保小や小中一貫連携を図ることで、教育効果を高め、円滑な接続を推進する。</p>	<p>○学習指導要領の趣旨をふまえた指導計画の実施と授業時数の確保。</p> <p>○ICTの活用と教材研究の工夫、ゲストティーチャーの活用、いつでも見合えて高め合える授業。（すべて総合して 学期5回以上）（学期3回以上のベーシックドリル活用）</p> <p>○図書ボランティアの活用と読書月間の取組による図書館の充実と読書教育の推進。（取組期間における朝読書 週3回以上）</p> <p>○習熟度別指導教員や学力向上支援講師、ALT等の活用や校内研究・研修による授業改善。</p> <p>○特別支援教室専門員・学校生活支援員の活用、家庭や関係諸機関との連携を通して、発達段階に応じた指導の推進。</p> <p>○体験活動による幼保との連携や小中における授業カリキュラムの連携推進。（年3回以上の小中一貫教育連携協議会）</p>

2 「豊かな心」に向けて（指標要素はアンケート・学校評議員会による評価や意見・公開感想等）

短期経営目標	方策
<p>○いじめのない望ましい人間関係を築く力や秩序ある集団行動をとれるよう、思いやりの心や規範意識を育成する。</p> <p>○すすんで取り組む意欲と最後までやりぬく根気を育てる。</p> <p>○自然や美しいものへの畏敬の念をもち、豊かな感性と情操を養う。</p>	<p>○生活指導方針の共通理解を徹底する。ふれあい月間の活用によるいじめアンケート調査や挨拶・言葉遣い、さらに偏見・差別・不登校等に関する指導の推進。細やかな児童理解のため専科教員を副担任として学年配置。</p> <p>○異学年活動の意図的設定。学年・学級通信発行や全員遊びの推奨。</p> <p>○道徳授業の充実。全教育活動を通じた道徳教育活性化。（10/14 道徳授業地区公開講座）</p>

<p>○児童の悩みや障害への適切な対応を図る。</p> <p>○学校内外の環境整備・美化に努める。</p>	<p>○諸行事・集会活動、学年学級活動、特別活動、音楽的活動等による規範意識や豊かな心の育成。(振り返りカード活用 学期 2回以上)</p> <p>○要配慮児童や家庭への組織的連携。(SC・ふれあい相談員・巡回相談・家庭支援センター・SSW・民生委員・児童相談所等)</p> <p>○学校内外の清掃活動や栽培活動による環境美化。</p>
---	---

3 「健やかな体」に向けて (指標要素は教育活動アンケート・体力テスト・公開感想等)

短期経営目標	方 策
<p>○全教育活動で基礎体力の増進を図る。</p> <p>○運動好きな子を育てる。</p> <p>○体育と保健指導の授業の充実を図る。</p> <p>○児童自ら安全と健康に興味関心を持ち、実践力をつちかう。</p> <p>○家庭の連携のもと基本的な生活習慣を身に付けさせる。</p>	<p>○年間を通じた意図的計画的な体育活動の設定と実施。(全校的な体力作りの活動時期の設定と児童達成カードの活用)</p> <p>○中休みの全校外遊びの励行。</p> <p>○地域組織や中学校等の体育専門家の活用による体力づくりの推奨。</p> <p>○体育授業の工夫や改善。(「オリンピック・パラリンピック教育推進校」を活用した体力づくりの計画と実践、ゲストティーチャーの活用)</p> <p>○給食主任や栄養士・給食調理員と連携し、心身の健康に寄与する食生活をおくるための食育の重視。(アレルギー対応面談とアレルギー対応研修 年 2回以上)</p> <p>○安全に関わる指導や防犯防災教育(避難訓練・体育・保健指導・生活指導・セーフティ教室・交通安全教室・情報モラル講習・SNS練馬区ルール・薬物乱用等)を徹底し、命や健康を守る能力の育成。(SNS学校ルールの指導 2学期までに)</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムの確立。(「中西スタンダード」の活用 年2回以上)</p>

4 「開かれた学校」に向けて (指標要素は教育活動アンケート・学校評議員会による評価や意見等)

短期経営目標	方 策
<p>○学校経営に外部からの視点や評価を反映させる。</p>	<p>○学校評議員会(年 3回以上)、学校関係者評価、保護者アンケート、児童アンケート、学校内部評価等を学校運営に反映させた学校</p>

<p>○様々な地域の教育力を取り入れる。</p> <p>○地域や諸機関との連携による安全安心の確保を図る。</p> <p>○情報の提供と発信により、地域や保護者の理解と信頼を得る。</p> <p>○地域や PTA 行事の取組への参加を推進する。</p>	<p>経営。</p> <p>○学校説明会、学校公開、行事、個人面談、保護者会等で、保護者が学校への理解と連携を深める機会を設定。(月1回以上設定)</p> <p>○学校支援地域連携推進校として、学校支援コーディネーターと連携を深め、支援体制を活用。(学期1回以上の連携委員会)</p> <p>○PTA、学校応援団、おやじの会、避難拠点運営連絡会、町会、青少年育成等の組織と連携した安全や健全育成の推進。</p> <p>○近隣の幼保小中、学童クラブ、児童館、ねりっこクラブ等との連携。</p> <p>○学校便り、HP 更新、学校連絡メール、発信文書の充実と理解や信頼に応える説明責任の実施。(学校連絡メールの100%登録)</p> <p>○児童の地域行事への参加の奨励と教職員の参加態勢の充実。</p>
--	---

5 「人材育成」に向けて（指標要素は教職員による自己評価等）

短期経営目標	方 策
<p>○服務事故防止のための指導監督を行う。</p> <p>○新人育成教員や OJT 推進により初任者や若手教員の学習指導力や生活指導力を向上させる。</p> <p>○誰もが参画意識をもてるような適正な組織運営を推進する。</p> <p>○円滑で透明性があり、効率的な運営システムを確立する。</p>	<p>○授業観察、週案、報告文書等を通じて服務に関する実態把握と指導育成の実施。</p> <p>○初任者・若手教員指導や校内研究、OJT 体制による育成を推進し、全教員の資質能力の向上。</p> <p>(1・2年次教員のOJTの確立)(全教員による校内研究授業実施)</p> <p>○報連相の確立と各分掌の PDCA システムによる進行管理及び学校改善。</p> <p>○教材の有効活用、コスト意識、見通しのある予算編成と執行等の組織的な視点の育成。</p> <p>○安全で適切な職場環境整備と教職員の心身の健康保持。</p>

D いじめ・体罰への組織的な対応

- 「中村西小学校いじめ防止基本方針」による本校の組織的な対応
 - ・いじめ防止等の対策のための組織を生活指導委員会内に設置する。
 - ・「いじめ防止推進教師」の基、いじめ防止に組織として全力を尽くす。
 - ・教育活動全体を通じて「豊かな心」の育成を図る。(校長講話・道徳授業・情報モラル講習会等)

- ・定期的ないじめの実態把握のために、保健室利用状況の情報交換・児童アンケート・生活指導朝会での情報共有・SCによる面談の活用・相談室ポスト・特別支援委員会等を実施し、早期発見・早期対応の体制を確立する。
- ・教職員、保護者、地域、関係機関等との連携を図りながら、学校組織全体でいじめに対処する。

○ 体罰への組織的な対応

- ・管理職が主体となって、サービス事故防止研修・自己申告面談・人権教育プログラムの活用・体罰禁止DVD視聴研修・サービス事故事例資料活用等を実施する。
- ・組織として、体罰を許さない、不適切な言動を許さない、教職員同士が体罰に対して相互に看過しない体制をつくる。
- ・体罰禁止への正しい認識がもてるよう全体・個別に指導する。
- ・教職員の人権感覚の指導を継続する。
- ・自己申告時の面談等を活用し、「力によらない指導」や「心を揺さぶる指導・心に寄り添う指導」などを明記できるようにする。

E 達成度を測る指標の設定等

1	週ごとの指導計画提出	100%
2	学校評議員会の評価	プラス評価80%以上
3	教職員内部評価	プラス評価70%以上
4	教育活動アンケート	プラス評価80%以上
5	学力テスト	平均で前年比同等以上
6	体力テスト	平均で前年比80%以上
7	感想・意見による評価	改善・指導の手立てを全面的に実施